

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 ドリーム	代表者	理事長 金子 敏	法人・事業所の特徴	平成23年3月に、旧越路町で初めての小規模多機能型居宅介護として、住み慣れた地域で在宅生活をしながら「小規模多機能型居宅介護」の特性である柔軟で臨機応変なサービスを利用できる。家庭的な雰囲気なかで、顔見知りの職員が自宅にも訪問し、使い慣れた環境の施設で通いやお泊りも実施している。 施設の環境として、農村住宅地にあり、事業所の畑もあるのでご利用者・職員とで野菜の収穫などに行きながら、周辺住民の方ともあいさつやお話し合える関係性を築いている。認知症のご利用者・ご家族から、在宅生活に不安を感じられる方も多く、併設の認知症対応型グループホームもあるので、随時相談にのっている。独居や老々世帯のご利用者も多く、緊急時や災害時に遠方のご家族も安心してご利用頂けるように定期的に近況報告や連絡をとるよう努めている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 あおぞら館	管理者	西脇 真		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	2 人	1 人	1 人	1 人	人	2 人	人	9 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価を行う時期は次年度7月末までに行う。今後も管理者を中心に、計画に対する取組みを定期的に話し合う場（ミーティング、定例会議など）を活用して、日頃より意識していく。	令和4年7月に自己評価実施。パート職員も自己評価を実施し話し合いにも参加した。	実施年月を「7月」や、具体的な内容を表記し管理者を中心に行っていた。	自己評価を行う時期は次年度7月末までに行う。管理者を中心に、計画に対する取組みを定期的に話し合う場（ミーティング、定例会議など）を活用して、日頃より意識していく。（前回と同じ）
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、ご利用者やご家族へ新型コロナウイルス感染症の予防対策へのご理解とご協力を得られるように、送迎時や電話連絡などをもってコミュニケーションを図る。新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、イベントの開催等を報告する。	ご利用者やご家族に向けて、新型コロナウイルス感染予防に関するお願い等の文書や、厚生労働省より要項が届いたら職員にも回覧して周知し、ご利用者やご家族が安心して過ごして頂けるよう努力している。職員、ご利用者は1日2回の検温、シルバー人材の方、来客の方も体温や体調確認を行っている。マスクや食席にも配慮している。	日中は施設内の換気、排煙口を常時開け換気を行っている。手すりの消毒や職員、ご利用者は食事以外マスクを着用してもらい、食事の席は、対面にならないように配慮している。	厚生労働省、新潟県、長岡市の感染予防対策等を踏まえて法人・事業所で方針を決め、ご利用者やご家族へ新型コロナウイルス感染症の予防対策へのご理解とご協力を得られるよう文章を基に、送迎時や電話連絡などをもってコミュニケーションを図る。

C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルス感染症の予防対策をし、体調や感染状況を見てご利用者と職員と地域行事への参加をしていく。送迎時や散歩、外出時には近所の方にきちんと挨拶をし、気軽に話し合える関係づくりに努めていく。	クリーン作戦は春・夏共にご利用者と職員とで参加出来た。その他の運動会やお祭りなどは新型コロナウイルス感染症の予防の為に中止していた。	クリーン作戦には参加出来たが、コロナ禍で行事の実施や町内行事への参加はできなかった。	新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ、体調や感染状況を見てご利用者と職員と地域行事などへ参加していく。 ※クリーン作戦（春・夏）
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、天気をみて外気浴や散歩に出かけ、密にならない程度の人数でドライブへ行き、地域とのつながりを継続していく。	新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら少人数でドライブへ行ったり、外気浴を行っている。夏祭りや運動会は中止になったが、春・夏のクリーン作戦にはご利用者、職員とで参加した。	今年度も越路地域勉強会に職員が参加し、研修で学んだことを内部研修に繋げていきたい。	新型コロナウイルス感染症の予防対策を行い、天気をみて外気浴や散歩に出かけ、密にならない程度の人数でドライブへ行き、地域とのつながりを継続していく。 (前回と同じ)
E. 運営推進会議を活かした取組み	今年度は、事業所内で事例検討会を R3 年 12 月に行い、職員のスキルアップをし、今後の業務に活かす。	構成員の方々からは、照会にてご報告をさせて頂いた。運営推進会議を通じて、地域の方（常会長・民生委員）との話しが出来るので、地域の防災訓練など計画があれば一緒に参加させてもらいたいことを伝えた。	事業所内外で新型コロナウイルスの感染陽性者・濃厚接触者が昨年よりも多く出ており、会議自体が照会にての開催が多くなった。	依然として、感染症対策が続くと思われるため、運営推進会議を照会で行う場合に事前資料として今までの資料の他に、外部評価で活用する書類は早めに資料提供していく。
F. 事業所の防災・災害対策	年 2 回の避難訓練はきちんと行い、事業所の防災計画やマニュアルの見直しを R4 年 2 月の会議のテーマとして職員が確認する機会を設ける。	越路出張所の消防士を招いて、避難訓練・水消火器訓練を行った。R4 年 10 月 31 日に同一敷地内合同で実施した。	地域の防災訓練は平成 28 年（2016 年）10 月 30 日に行ったがそれ以降は行っていない。	定期的な避難訓練では、実践的な訓練を行っていくが、事業所の防災計画や、マニュアルの見直しや職員への周知を行っていく。